**製品要件テンプレート サンプル**

|  |  |
| --- | --- |
| 製品タイトル | Project Phoenix - カスタマー エンゲージメント プラットフォーム |
| 作成者 | Sasha Petrov |
| 電話 | 電話番号 |
| メール アドレス |  |
| 住所 | 123 Main Street, Suite 125 |
| 日付 | YY/MM/DD |
| 概要 |  |  |  |
| Project Phoenix は、中小企業 (SMB) 向けの堅牢なカスタマー エンゲージメント プラットフォームの開発を目指しています。このプラットフォームは、メッセージング、カスタマー サポート、および分析の機能を提供することで、企業と顧客間のシームレスなやり取りを促進します。 |
| 製品の目標 |  |  |
| *製品が達成を目指す包括的な目標とゴールを定義します。このセクションでは、後に続く要件の背景を設定します。* |
| 目標 1 | 顧客と企業間のコミュニケーション チャネルを強化する。 |
| 目標 2 | カスタマー サポートの問い合わせに対して、ユーザー フレンドリーなインターフェイスを提供する。 |
| 目標 3 | 企業向け分析ツールを導入して、顧客とのやり取りに関するインサイトを取得する。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 関係者の特定 |  |  |
| *プロジェクトの関係者をリストアップし、製品に対するそれぞれの役割、責任、関心事を特定します。* |
| 名前 | 役割 | 責任 | この製品に対する関心事 |
| Melissa B. と Kiran G. | マーケティングチーム (プライマリ ユーザー) | カスタマー エンゲージメントのニーズに関するインサイトを提供する。 |  |
| Patricia H. と Jose P. | 開発チーム | プラットフォームの開発と管理。 |  |
| 機能要件 |  |  |
| *製品に必要な特定の機能を詳細に説明します。ユーザー ストーリー、シナリオ、ユース ケースを使用して、ユーザーが製品とどのように関わり、製品にどのような機能が必要であるかを説明します。* |
| 顧客がチャットまたは電子メールでサポート チケットを開始できるようにする。 |
| 企業が顧客からの問い合わせを追跡するためのダッシュボードを提供する。 |
| ソーシャル メディア プラットフォームとの統合を有効にし、ダイレクト メッセージを可能にする。 |
| 非機能要件 |  |  |
| *パフォーマンス、セキュリティ、拡張性、使いやすさ、コンプライアンス、技術的な制約など、特定の機能以外の側面に触れます。* |
| 顧客からの問い合わせに対する応答時間は 30 秒未満である必要がある。 |
| プラットフォームは、データ プライバシーに関する GDPR の規制に準拠する必要がある。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 前提条件と制約 |  |  |
| *要件収集プロセス中に設定された前提条件と、製品の開発や展開に影響を与える可能性のある制約を特定します。* |
| **前提条件** |
| このプラットフォームは、既存のクラウド インフラストラクチャ上に構築される。 |
| 前提条件 2 |
| 前提条件 3 |
| 前提条件 4 |
| **制約** |
| 初期開発予算は 5 千万円に制限。 |
| 制約 2 |
| 制約 3 |
| 制約 4 |
| 依存関係 |  |  |
| *サード パーティの統合や外部サービスなど、製品の開発やリリースに影響を与える可能性のある外部要因や依存関係を概説します。* |
| 依存関係 1 | 企業が使用している CRM ソフトウェアとの統合。 |
| 依存関係 2 | ソーシャル メディア統合用のサード パーティ API へのアクセス。 |
| 許容基準 |  |  |
| *各要件が正常に実行され、受け入れられたと見なされるために満たす必要がある条件を明確に定義します。* |
| チャット機能 | チャット機能は、100 人の同時ユーザーに正常に対応できる必要がある。 |
| 顧客データ | 保存された顧客データはすべて、AES256 を使用して暗号化する必要がある。 |
| リスク分析 |  |  |
| *プロジェクトの成功に影響を与えうる潜在的なリスクを評価し、軽減戦略や緊急時対応計画を詳細に説明します。* |
| リスク  | 軽減策 |
| サード パーティの API 変更による遅延の可能性。 | ソーシャル メディア統合のためのバックアップ オプションを備える。 |
| データ プライバシー法に影響を与える規制の変更。 | 定期的にコンプライアンスを見直し、迅速に適応する。 |
| 優先度と工数 |  |  |
| *各要件に対して優先度を割り当て、必要な工数を見積もることで、プロジェクト計画とリソース割り当てを支援します。* |
| 要件 | 優先度 | 必要な推定工数 |
| 要件 1 | **高** | 推定工数 - 4 週間。 |
| 要件 2 | **中** | 推定工数 - 6 週間。 |
| 要件 3 | **低** | 推定工数 - 8 週間。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| バージョン履歴と変更ログ |  |  |
| *文書に加えられた改訂、更新、変更の記録を保持して、要件の進化を追跡します。* |
| バージョン  | 編集完了者 | 日付 | 編集の説明 |
| 1.00 | Sasha P. | YY/MM/DD | 草稿 |
| 1.10 | Sasha P. | YY/MM/DD | 関係者の詳細を追加 |
| 1.20 | Sasha P. | YY/MM/DD | リスク分析を追加 |
| 視覚的補助 |  |  |  |
| 図、ワイヤフレーム、モックアップ、プロトタイプを取り入れて、製品の見た目や雰囲気を視覚的に表現し、理解と明瞭性を高めます。 |

|  |
| --- |
| **免責条項**Smartsheet がこの Web サイトに掲載している記事、テンプレート、または情報などは、あくまで参考としてご利用ください。Smartsheet は、情報の最新性および正確性の確保に努めますが、本 Web サイトまたは本 Web サイトに含まれる情報、記事、テンプレート、あるいは関連グラフィックに関する完全性、正確性、信頼性、適合性、または利用可能性について、明示または黙示のいかなる表明または保証も行いません。これらの情報に依拠して生じたいかなる結果についても Smartsheet は一切責任を負いませんので、各自の責任と判断のもとにご利用ください。 |